

県立常陸大宮高等学校【総合的な探究の時間計画】（令和 8 年度）

学校の教育目標

<p>(1) 一人ひとりの個性を生かし、学ぶ意欲や創造性を育む。</p> <p>(2) 豊かな人間性や社会性を育む。</p> <p>(3) 健やかに生きるための丈夫な身体を育む。</p> <p>(4) 産業社会の発展に貢献できる力を育む。</p>

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
<p>【1年】</p> <p>探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究に必要な知識及び技能を身に付け、知的な感動体験から課題に関わる概念を形成しながら、探究活動が実社会・実生活と密接に関わっていることに気づく。(知識・技能)</p> <p>(2) 実社会や実生活と自己との関わりの中から課題を設定し、探究のプロセスを自ら見通しつつ、自分(たち)の力で運用するとともに、探究の成果や自己の成長を表現する。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>(3) 探究活動に粘り強く主体的に取り組み、探究を通して社会に参画したり、自己の在り方生き方に生かそうとしたりする姿勢を養うとともに、多様な他者の考えや良さを認め合い、協働的に学ぶ態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>【1年】</p> <p>探究の過程(課題設定、情報収集、整理・分析、表現、振り返り)に対応して行う。評価に当たっては、3観点(知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性等)と、本校で設定した9つの資質・能力を関連付け、ルーブリック(A~D)を用いて到達度と成長の両面から把握する。</p> <p>まず、「知識・技能」の観点においては、情報の収集方法が適切であるか、収集した情報の信頼性を判断し活用できているか、得られた情報を関連付けて概念化し本質的に理解しているか、さらに振り返りを通して自己理解を深めているかといった点を評価する。</p> <p>次に、「思考力・判断力・表現力」の観点においては、課題設定が適切で本質に迫るものであるか、情報を基に論理的に分析・考察し妥当な判断を行っているか、また、その考えを相手や目的に応じて分かりやすく表現できているかといった点を重視する。</p> <p>さらに、「学びに向かう力・人</p>	<p>【1年】</p> <p>個々の実態に応じた支援と評価の工夫を一体的に行うとともに、本校のルーブリックに基づいて資質・能力の伸長を適切に捉えることを重視する。</p> <p>まず、「知識・技能」に関わる支援としては、情報収集の方法を段階的に提示したり、資料の選び方の具体例を示したりするなどの支援を行う。また、ワークシートの構造化や記入例の提示などにより、情報の整理や概念化が行いやすいよう工夫する。評価に当たっては、成果の完成度のみならず、情報収集や整理の過程における努力や工夫を重視する。</p> <p>次に、「思考力・判断力・表現力」に関わる支援としては、問いの立て方の例示や段階的な問いの提示、思考の整理に資する図や表、マインドマップ等の活用を行う。また、表現においては一定の型や手順を示すことで、論理的な表現を支援する。評価においては、結論の完成度だけでなく、思考の過程や</p>

<p>【2年】 現代社会が直面している問題を理解する。</p> <p>【3年総探】 (1) 課題解決に向けて、どのような情報が必要で、どう収集するのが適切か考え、分析を行うとともに、収集した情報を活用する能力や教科横断的な見方・考え方を身に付ける。 (2) 自ら設定した課題について体系的・系統的に理解するとともに、課題を解決する活動を通して、社会における多様な問題に関心を持ち、よりよい社会を形成するために自身が貢献できることは何かを意識して生活していく姿勢を身に付ける。 (3) 自ら設定した課題に対して、解決策について探究し自らの考えを発表する機会を設け、多角的な視点や言語力、表現力など幅広いスキルを身に付ける。 (4) 社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組み、自ら学び自ら課題を解決する主体的態度と能力を身に付ける。</p> <p>【3年機械・情報技術科課題研究】 工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>【3年商業科課題研究】 商業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習をとおして、専門的な知識と技術の深化、統合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。</p>	<p>間性等」の観点においては、主体的かつ継続的に探究に取り組んでいるか、他者と協働しながらよりよい学びを創り出しているか、学びを社会と関連付けて捉えようとしているかといった点を評価の視点とする。</p> <p>【2年】 具体的な解決策を考えること目指す。</p> <p>【3年総探】 ・課題解決に必要な情報を複数の手段（書籍、Web、実地など）で収集し、目的に沿って整理することができる。 ・収集した情報を比較・分類し、自分なりの解決策を根拠を持って構成し、他者に伝わるように表現している。 ・社会的な課題と自分自身の関わりを意識し、周囲と協力しながら粘り強く探究活動を継続しようとしている。</p> <p>【3年機械・情報技術科課題研究】 工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けていること。職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組んでいること。</p> <p>【3年商業科課題研究】 実社会や自己との関わりから課題を発見し、多様な手段で収集した情報を多面的に分析した上で、その成果を論理的に表現し、探究</p>	<p>試行錯誤の状況を重視する。 さらに、「学びに向かう力・人間性等」に関わる支援としては、生徒が達成可能な課題設定を行うとともに、小さな成功体験を積み重ねられるよう配慮する。また、グループ活動においては役割を明確にすることで協働的な学びを促進する。加えて、地域や社会との関わりを具体化することで、学びの意義を実感できるようにする。評価に当たっては、成果のみならず、取り組みの姿勢や変容、他者との関わり状況を重視する。</p> <p>【2年】 発表が苦手な生徒もいるので、班のメンバー構成を考える。</p> <p>【3年総探】 ・多様な実態を踏まえ、個々が抱える課題に応じたきめ細やかな指導を行う。 ・教員間の連携を密にし、情報の共有および共通理解のうえで、組織全体で一丸となって対応する。 ・SCやSSWなどと連携し、個に応じた適切な支援を行う。</p> <p>【3年機械・情報技術科課題研究】 グループや少人数などの活動を通して支援してく。</p> <p>【3年商業科課題研究】 生徒の得意なことを活かすという視点に立ち、個々の課題を核とした具体例を示したり、実習をしたりして学習面や精神</p>
--	--	--

様式 1

	の意義を自己の在り方生き方と結びつけている。	的な困り感を解消できるような支援を行う。
--	------------------------	----------------------

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（ 課題研究 ）

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1年	<p>(1) 自己探究 自らの経験や価値観を基に問いを見だし、他者との対話を通して考えを深め、これからの生き方や在り方を再構成し、言葉で表現する活動。</p> <p>(2) 地域探究 常陸大宮市の現状や特色を多面的に捉えて問いを見だし、課題を分析・考察した上で、持続可能な地域の在り方について自分なりの提案をまとめ、発信する活動。</p> <p>(3) 職業探究 働くことの意義や社会との関わりについて問いを立て、情報収集や体験を通して理解を深め、自らの生き方と結び付けて職業観・勤労観を形成し、将来像として表現する活動。</p> <p>(4) 分野別探究 各分野に関わる事象から問いを見だし、課題を設定し、情報の収集・整理・分析を通して考えを深め、結論を導き出すとともに、その成果を他者に分かりやすく発信する活動。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行政との連携（例：市役所・県庁等） ・地域課題に関するインタビュー（人口減少、観光、防災等） ・フィールドワーク・地域調査 ・地域資源（観光・文化・産業）の現地調査 ・住民アンケート・聞き取り調査 ・実地観察によるデータ収集 ・地元企業・事業所との連携 ・企業見学・現場視察（工業団地・商業施設等） ・課題提示型学習（企業が抱える課題の共有） ・商品開発・地域PR等の共同企画 職業人・専門家との連携 ・職業人インタビュー（対面・オンライン） ・キャリア講話（働く意義・職業観） 	<p>多様な情報源から必要な情報を適切に収集し、その信頼性を判断しながら活用するとともに、得られた情報を関連付けて整理・統合し、本質を捉えることができる生徒。</p> <p>実社会や自己との関わりの中から本質的な課題を見だし、その要因や構造を多面的・多角的に分析するとともに、根拠に基づいて妥当な判断を行うことができる生徒。</p> <p>課題の解決に向けて主体的に取り組み、試行錯誤を重ねながら粘り強く探究を進めるとともに、他者と協働しながら新たな価値を創造しようとする生徒。</p>
2年	SDGsに関連するテーマを決定し、班ごとに調べ学習を行う。他国の事例、歴史などを調べながら、班ごとに解決策、自身の班が考える考えをまとめ、発表する。	本やインターネットから情報収集を行う。本の作者、インターネットを書いている作者に必要ながあれば質問をメール等で送る。	現代社会が直面している問題を理解し、どのような解決がこれまで試みられてきたのかを理解する。

様式 1

<p>3年 (総合的な探究の時間, 課題研究)</p>	<p>【3年総探】 ・普通科の特色を生かし、社会の諸課題を解決できる能力を身に付ける。生涯にわたり、社会との関わりを踏まえた見方・考え方を自在に働かせることができる能力を身に付ける。 ・学習内容やテーマに応じて学習形態(個別・ペア・グループ)を適宜設定し、効率よく学習する。 ・課題の解決に向けて生徒同士で話し合いを行うことで、自分の考えを整理・表現する力、および他者の考えを理解する精神を養う。 ・必要な情報を収集するために、文献やインターネットなど様々なメディアを活用する。 ・探究したテーマを他者に伝える手法について、グループ発表、クラス発表、全体発表と段階を踏んで経験し、プレゼンテーション能力を高める。また、発表していく中で、パワーポイントやポスターセッションなど様々な手法を学ぶ。 【3年機械・情報技術科課題研究】 自らの興味・関心等に基づき課題を設定し、課題解決のための学習を展開することにより、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。 【3年商業科課題研究】 地域課題・進路・自己課題・興味関心の4領域から生徒が主体的に課題を設定し、実習を通して課題解決に取り組み、商業の知識・技能の深化と統合化を図る。</p>	<p>【3年総探】 ・地域行政との連携(例:市役所・県庁等) ・地域課題に関するインタビュー(人口減少、観光、防災等) ・フィールドワーク・地域調査 ・地域資源(観光・文化・産業)の現地調査 ・住民アンケート・聞き取り調査 ・実地観察によるデータ収集 【3年機械・情報技術科課題研究】 計画立案・レポート・グループ活動:言語活動(国語) 【3年商業科課題研究】 地元の飲食店や市役所と連携し、実社会における課題の発見から解決策の検討・実践までを協働して行い、学習内容と社会との関連を深める。</p>	<p>【3年総探】 ・多様なことに興味・関心を持ち、多角的な視点で物事を考えられる生徒。 ・コミュニケーション能力の高い協調性のある生徒。 ・他者を理解し行動できる思いやりのある生徒。 ・自ら課題を見つけ、積極的に行動できる生徒。 【3年機械・情報技術科課題研究】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組もうとする姿勢 【3年商業科課題研究】 生涯にわたり主体的に課題を設定し、多面的に分析・表現しながら、高い専門性を生かして自ら課題を発見・解決しようとする生徒を育成する。</p>
---------------------------------	---	--	---